愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	英語IV		
担当者(Instructors)	西崎 有多子	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	1	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

「英語III」に引き続き、英語への興味関心、モチベーションと英語能力向上を総合的に目指す。言語としての英語、その背景知識、時間的・空間的広がり、英語学習の基礎知識、実際の使い方等を知識として学び、それぞれを実際の英語で体験的に学び、平行して平易な英文を読み進む。「英語III」を履修し、引き続きの履修を勧めるが、この科目だけの履修も可。「英語基礎I」「英語基礎II」「英語I」「英語II」等を終了してからの受講が望ましい。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	教科書の内容に加えて英語のことわざ・時事英語等にも触れながら、総合的英語力向上を目指し、辞書を積極的に活用して自分の力で主体的に解決する課題に取り組む。英語に関する様々なテーマに取り組み、自ら解決し、その内容についてプレゼンテーションができるように体得していく。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	英語での上手な自己紹介とプレゼンテーション	個人としての魅力を伝えるための自己紹介を英語で行なう。スモールトークの基本を学ぶ。	□
第2回	英文の読み方とパラグラフ	英文の読み方の基本。パラグラフの構造を理解し、効果的な読み方を身に付ける。	□
第3回	英語のオノマトペ	英語と日本語のオノマトペの特徴を理解する。 英語と日本語の表現の違いを知る。	□
第4回	英語の略語・略称、人の名前	主な略語等を知り、英文の名前の特徴を理解する。	□
第5回	英語の名スピーチ(1)	英語の名スピーチの例から、効果的な英語表現について理解する。	□
第6回	英語の名スピーチ(2)	英語の名スピーチの例から、効果的な英語表現について理解する。	□
第7回	英語の歌と音楽　ロック・ポップス(1)	英語圏の伝統的音楽から現代のロック・ポップスを考察する。	□
第8回	英語の歌と音楽　ロック・ポップス(2)	英語圏の伝統的音楽から現代のロック・ポップスを考察する。	□
第9回	英語の数の読み方と表記	英語の数の数え方や数字表記とその読み方を理解する。	□
第10回	接辞(1)接頭辞	接頭辞についてその種類と意味、単語例を学び、未知の単語の意味を推測できる力をつける。	□
第11回	接辞(2)接尾辞	接尾辞についてその種類と意味、単語例を学び、未知の単語の意味を推測できる力をつける。	□
第12回	接辞(3)品詞の変化等	接頭辞、接尾辞についてその種類と意味、単語例を学び、未知の単語の意味を推測できる力をつける。	□
第13回	英文履歴書と自己推薦書(1)	英文履歴書と自己推薦書の例を読んで、特徴と書き方を理解する。	□
第14回	英文履歴書と自己推薦書(2)	英文履歴書を作成する。	□
第15回	英文ビジネスレター	英文ビジネスレターを読み、構成と読み方を理解する。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業前に各自で30分程度、予習として次回で扱う教科書の内容を読み、わからない英単語の意味を調べ、教科書内容について疑問点を明らかにしておくついて。授業後に各自で30分程度、授業内容を振り返り、疑問点がないか確認する。授業で学んだ教材の活用方法を考える。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題や小テストについて、予習を行い、授業後はテストの返却後、解答を確認して間違っていた部分について、正解を記入して提出する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019全学共通DP1	学びの基礎となる社会、文化、自然等に関連する幅広い知識を習得しながら専門知識を育み、それを活用することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	基礎学力を踏まえた専門知識と自らの経験を基に、創造的に考えたうえで、課題について的確に判断し、自在に表現、発信することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
0%	0%	0%	20%	80%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

その他は、発表、英語知識・語彙や表現に関する授業内小テストと課題　80%。課題は提出期限に遅れるほど減点する。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	酒井志延ほか『英語の世界ハンドブック』大修館書店	978446924655
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	高校レベル以上の英和辞典（電子辞書でも可）	
2		
3		
4		
5		